

# 核兵器廃絶 世界に訴え

## 広島原爆70年

### 式典に最多100カ国

### 人類愛と寛容呼び掛け

広島は6日、史上初めて原爆が投下されてから70年の「原爆の日」を迎えた。爆心地近くの広島市中区の平和記念公園では、午前8時から「原爆死没者慰霊式・平和祈念式」（平和記念式典）が営まれ、松井一実市長は平和宣言で「絶対悪である核兵器廃絶と禁止条約の交渉開始に向けて全力で取り組み、世界の指導者らに「人類愛」と「寛容」を呼び掛けた。

#### 平和宣言骨子

- 「広島をまどうてくれ!」は、ふるさとや家族、身も心も元通りにしてほしいという被爆者の悲痛な叫び
- 非人道性の極みで絶対悪である核兵器の廃絶を目指し、共に大きなねりを創ろう
- 2020年までの核兵器廃絶と核兵器禁止条約の交渉開始に向け、世界的な流れを加速させる
- 各国の為政者は人類愛と寛容を基に対話を重ね、武力に依存しない安全保障の仕組みの創出を
- オバマ米大統領ら為政者は被爆地を訪れ、核兵器禁止条約を含む法的枠組みの議論開始を
- 日本政府には核保有国と非核保有国の橋渡し役としてこの議論の開始を主導するよう期待する

広島市によると、式典には約5万5千人が参列。過去最多の100カ国と欧州連合（EU）の代表が出席した。核保有国は米英仏口の代表が出席し、中国は欠席。原爆を投下した米国は、キャロライン・ケネディ駐日大使と、政府高官として初めてガテマラー国務次官（軍備管理・国際安全保障

担当）が参列した。安倍晋三首相は式典後、市内で被爆者団体代表らと面会。安全保障関連法案について「被爆者の願いに背く」として撤回を求められたが「戦争を未然に防ぐもので、必要不可欠だ」と述べた。

厚生労働省によると、被爆者健康手帳を持つ人は2015年3月末で18万3519人。平均年齢は80・13歳となった。高齢化がいつそう進み、体験の継承が急がれる。松井市長は宣言で「広島をまどうてくれ（元通りにしてくれ）」という被爆者の悲痛な叫びを盛り込み、公募した体験談から河内政子さん（86）の思いを引用。各国の指導者に武力に依存しない安全保障の仕組みの創出と被爆地訪問を訴え、政府に「核保有国と非核国の橋渡し役として議論を主導するよう」に期待する」と述べた。

この1年間に死亡した死者は5359人。子どもたちの「平和への誓い」は、ともに広島市の小学6年、桑原悠露君（12）と細川友花さん（11）が朗読した。

### 若き誓い 未来へ 本県の中学生も参列

6日午前が開かれた広島市の平和記念式典には、本県の13市町から中学生約140人が参列した。原爆が投下された午前8時15分に黙とうをささげ、二度と戦争を繰り返さないよう「平和を次世代につなげてい



く」と誓った。長岡市からは23人が参列。長岡市山本中2年の本田優彩さん（13）は「大切な人が一瞬でなくなるのは悲しい。戦争をしてはいけない」と広島に来て強く思った」と話した。式典では広島市の小学生もあつた。平和の大切さを

平和記念式典に参列し、犠牲者に黙とうをささげる長岡市の中学生116日午前8時15分、広島市中区の平和記念公園。新発田市の10人は式典後、原爆死没者慰霊碑に献花した。新発田市第一中3年の梅津啓太君（14）は「この体験を友達や家族に伝え、次世代にも伝えたい」と表情を引き締めた。4人が参列した津南町の津南中3年、若井潤君（15）は「世界各国から多くの人が集まり、平和への思いを感じた。原爆被害や被爆者の悲しみをみんなに伝えたい」と誓っていた。



被爆から70年を迎え、原爆慰霊碑を訪れた大勢の人たち。奥は原爆ドーム。6日午前、広島市の平和記念公園